

2021年6月25日

三井不動産株式会社

海外における三井不動産初の駅ビル商業施設 「三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路」に名称決定 中国・上海に2021年内開業予定

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信)は、上海市閔行(ミンハン)区において開発中である、上海地下鉄1号線蓮花路(レンファールー)駅に直結する駅ビル商業施設の名称を「三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路(中国語名:Mitsui Shopping Park 啦啦荟城(la la hui cheng)上海蓮花路)」(以下、「ららステーション上海蓮花路」とし、ロゴデザインとともに決定したことをお知らせします。当施設は、海外における当社グループ初の駅ビル商業施設となります。順次開業し、2021年中に全体開業予定です。



「ららステーション上海蓮花路」建物外観

本リリースのポイント

- ・ 施設名称を「三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路」に決定。
海外における当社初の駅ビル商業施設として順次開業し、2021年末までに全体開業予定。
ららステーション上海蓮花路の開業に先駆けて、2021年6月25日に駅開き式典を開催。
- ・ インターナショナル・日本・中国の魅力的な店舗が続々決定。
中国発のシェアオフィスブランド「DISTRII 办伴(banban)」の入居も決定し、駅・商業・オフィスが一体化したハイブリッド施設を構成。また、ドイツのスーパーマーケット「ALDI」が駅開き式典と同時に先行オープン。

1. 施設名称を「三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路」に決定

1. ネーミングコンセプト

「三井ショッピングパーク ららぽーと」や「三井ショッピングパーク ららガーデン」などに共通する「三井ショッピングパーク」と「らら」のネーミングを継承し、ロゴマークも同型とすることで、三井不動産の商業施設シリーズであることを強調しています。さらに「ステーション」と合わせることで、「毎日楽しい、毎日寄りたい、毎日新しい駅ビル型商業施設」であることを感じていただくとともに、欲しいときに欲しいものを買える利便性と高感度なライフスタイルを提案する施設であることを表現しています。



2. 立地

本施設が所在する閔行区は、上海市南西部に位置し、市中心部にも近く、上海市の浦西（プーシー）エリアで最大の人口（約 243 万人）を有する行政区です。なお、本施設の事業地である蓮花路駅は、1 日あたりの乗降客数が約 10 万人、駅前に併設するバスターミナルからは 32 路線のバスが運行する交通利便性の高い立地です。

3. コンセプト

本施設のコンセプトは、「My favorite THIRD PLACE」です。家（ファーストプレイス）と職場や学校など（セカンドプレイス）の間である駅を、単なる交通や移動のための場所から、生活者の交流や街のにぎわいの拠点へと変貌させ、この街に住んでいることを自慢したくなるような商業施設になることを目指します。



施設内部 イメージパース

【駅開き式典】

開業に先駆けて、2021 年 6 月 25 日に駅開き式典が開催されました。上海申通地鉄集団、閔行区政府関係者、当社が参加し、新たな蓮花路駅をお披露目いたしました。



駅開き式典の様子

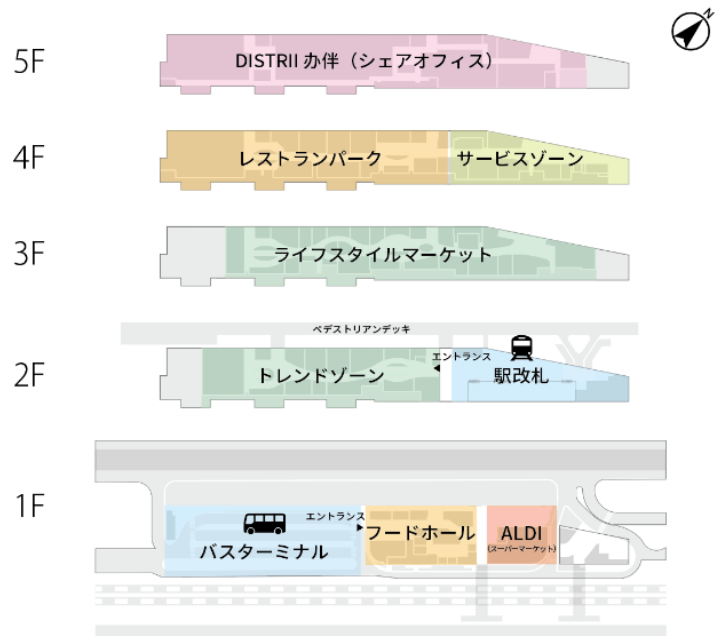
2. シェアオフィスも入居するハイブリッド駅ビル商業施設 ～新しい働き方・暮らし方を提案～

毎日の生活に密着した日常型店舗から、新しいモノやコトを発見するワクワク感をご提供するトレンド性の高い店舗まで、多様性を持った店舗構成で、お客さまから多くのご支持をいただける商業施設を目指します。また、駅ビル型商業施設の特性を活かし、朝から夜まで利用者の需要を取り込んでまいります。

なお、5階にはAgiPlus Groupのシェアオフィスブランド「DISTRII办伴」の入居が決定しております。駅・商業・オフィスが一体となり、交通・買い物・就業をワンストップで完結できるハイブリッド型施設として、新たなライフスタイルやワークスタイルを提案します。

1階にはドイツのスーパーマーケット「ALDI」と、朝食からランチ、ディナーまで楽しめる「フードホール」がお客さまの日常的な食生活を応援します。

2階はファッション、雑貨、食品等のトレンド性の高い店舗がバラエティ豊かに集積する「トレンドゾーン」となります。また、3階は暮らしをサポートする店舗が「ライフスタイルマーケット」を形成し、さらに4階には幅広いニーズにお応えするレストランやサービス店舗が入居します。



シェアオフィス「DISTRII 办伴」の入居が決定

AgiPlus Groupの「DISTRII 办伴」は、世界企業番付 500 に入った企業の前執行副総裁で、総建築士である胡京博士が「オフィスをもっと便利に」の理念のもと2015年にスタートし、発展し続けているシェアオフィスです。

現在2カ国(シンガポール、中国)、8都市(シンガポール、上海、北京、杭州、南京、雄安、蘇州、合肥)の52以上のビジネスエリアで展開されています。面積は48万㎡を超えており、約6,000のクライアント企業に質の高いサービスを提供しています。

DISTRII 办伴



「DISTRII 办伴」イメージ写真

スーパーマーケット「ALDI」が先行オープン

「ALDI」は、欧米各国で多くの賞を獲得するなど、世界中で愛されるドイツ発のグローバルチェーンスーパーマーケットです。100年の歴史を持ち、十数カ国に1万店舗以上を構えています。世界中の仕入れネットワークを活かした強力なサプライチェーンを構築し、厳格な品質管理のもと、安定したグローバル品質を確保。また、地域に根ざした店づくりで、多くのお客さまにコストパフォーマンスの高い商品を提供しています。

選び抜かれた豊富な品揃えと便利なお買い物体験で、お客さまにリーズナブルな商品を提供し、生活にゆとりと安心感をお届けします。



「ALDI」開業の様子

6/25
先行
オープン



【物件概要】

物件名称	三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路 (中国語名:Mitsui Shopping Park 啦啦荟城上海蓮花路)
所在地	中華人民共和国上海市閔行区梅龍鎮地下鉄1号線蓮花路駅
交通アクセス	上海地下鉄1号線「蓮花路」駅直結
事業形態	上海申通地鉄集団が開発・保有する予定の複合用途建物のうち、 商業部分を当社グループが賃借、運営(マスターリース事業)
建物規模	鉄骨造 地上5階、地下1階 商業部分:地上1階～地上5階 駐 車 場:地下1階
敷地面積	約 17,600 m ²
延床面積(商業部分)	約 31,000 m ²
店舗面積	約 16,500 m ²
店舗数	約 100 店舗
駐車場台数	約 250 台
スケジュール	2021 年開業(予定)

【三井不動産の海外戦略について】

これまでに、アメリカ・イギリスの欧米諸国に加え、アジア諸国・地域での事業を展開しています。商業施設事業は、クアラルンプールおよび台湾諸都市においてアウトレット事業を、また、上海、クアラルンプール、台湾諸都市においてららぽーと事業を推進しています。さらに、シンガポール、タイ、中国他アジア諸都市では住宅事業、台北ではホテル事業、バンコク近郊では物流施設事業、バンガロールではオフィス事業を推進しており、拡大する消費を積極的に取り込み、現地に貢献しながら早期に利益を拡大すべく、成長著しいアジアでの事業を積極的に推進しています。今後も更なる事業の拡大を目指しています。当社グループは、グループ長期経営方針「VISION 2025」にて、「グローバルカンパニーへの進化」を掲げており、海外事業の飛躍的な成長を目指しています。

【三井不動産の中国大陸での事業について】

2005 年に「上海駐在員事務所」、2009 年に「三井不動産(上海)投資諮詢有限公司」を設立し、上海市およびその周辺都市を中心に、住宅事業および商業施設事業を推進しています。2021 年 4 月 28 日には、海外初となるららぽーと事業「三井ショッピングパーク ららぽーと上海金橋」が開業を迎えました。現在展開している都市を中心に、今後も中国大陸において更なる事業の拡大を目指しています。

<添付資料①> 位置図

【広域図】

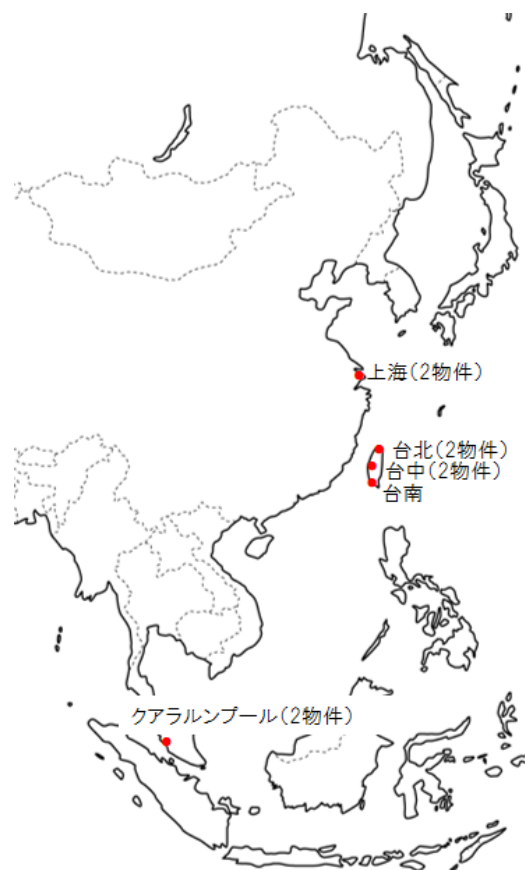


【中域図】



<添付資料②> 三井不動産が海外で展開する商業施設(2021年6月現在)

国/地域	物件名	開業年	店舗数(約)	店舗面積(約)
中国	三井ショッピングパーク ららぽーと 上海金橋	2021年	180店舗	55,000㎡
	三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路	2021年(予定)	100店舗	16,500㎡
台湾	三井アウトレットパーク 台湾林口	【1期】2016年	220店舗	45,000㎡
		【2期】2024年(予定)	90店舗	26,900㎡
	三井アウトレットパーク 台中港	【1期】2018年	170店舗	35,000㎡
		【2期】2022年(予定)	50店舗	8,000㎡
	(仮称)三井アウトレットパーク 台南	【1期】2022年(予定)	180店舗	33,000㎡
		【2期】2025年(予定)	50店舗	11,500㎡
(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台中	2022年(予定)	270店舗	68,000㎡	
(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港	2023年(予定)	250店舗	70,000㎡	
マレーシア	三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港セパン	【1期】2015年	130店舗	24,000㎡
		【2期】2018年	70店舗	9,900㎡
		【3期】2021年(予定)	50店舗	10,100㎡
	(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーとクアラルンプール	2021年(予定)	400店舗	82,600㎡
合計		9 物件	2,210店舗	495,500㎡



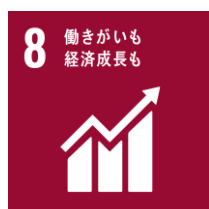
<添付資料③> 三井不動産グループのSDGsへの貢献について

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/esg/csr/>

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における2つの目標に貢献しています。

目標 8 働きがいも経済成長も
目標 11 住み続けられるまちづくりを



<リリース画像のダウンロードサイト>
<https://www.mitsufudosan.co.jp/press/>